

公告 昭 33. 8. 19 出願 昭 31. 5. 17 実願 昭 31—24239

考 案 者 柳 沢 明 東京都足立区梅島町 1 栗林写真機械
製作所内
出 願 人 栗 林 敏 夫 東京都足立区梅島町 1

(全 2 頁)

ヘ リ コ イ ド 作 動 環

図 面 の 略 解

第 1 図は正面図、破断線は作動環を取り外した状態を示す。第 2 図は側面図で一部断面を示す。

実 用 新 案 の 説 明

本案は写真機の鏡胴繰出機構に最も多く使用されるヘリコイドネジが作動部の機構に依り影響される事なく円滑に回転する為の考案にして図面に示された如く内筒 1 の外周面に施したるヘリコイドネジ 2 は中筒 3 に施したるヘリコイドネジ 2' と螺合され、該中筒 3 は外周中央部に鏝 4 を形成し正面に数箇所の螺入孔 5 を設け又、後部外周面 6 に左細目ネジ 7 を施し写真機本態に枢着されたる外筒 8 の左細目ネジ 7' に螺合される。外筒後部 9 に案内溝 10 を設け内筒突子 11 を嵌入させ中筒 3 と共に内筒 1 が廻動せぬ様にする。外周に距離目盛を刻印せる作動環 12 は正面に数箇所の調節孔 13 を設けたる取付面 14 を形成し中筒 3 に嵌挿し規定位置調節後、中筒鏝 4 と作動環取付面 14 は止ネジ 15 にて調節孔 13 を介し螺入孔 5 にて締付ける構造なり。其の作用は焦点調節に際し

作動環 12 に螺着せられたる中筒 3 が外筒 8 に対し左細目ネジ 7 に依り廻動し内筒 1 をヘリコイドネジ 2 により直進させる。

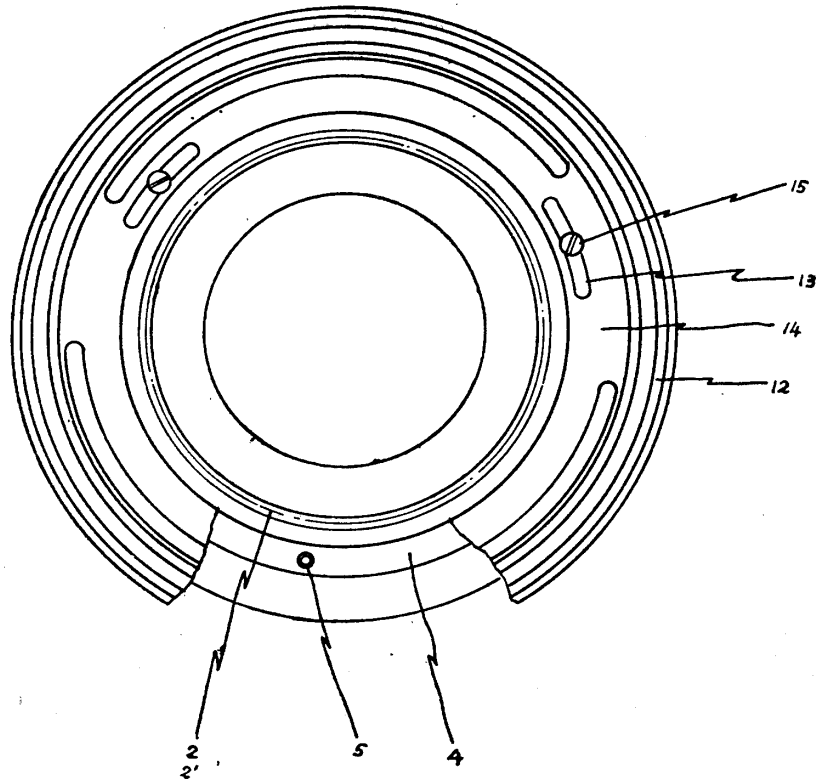
従来作動環 12 と中筒 3 の取付方式は軸線に対し直角方向即ち作動環 12 の外周に螺入孔 5 を設け止ネジ 15 先端にて中筒鏝 4 外周を押しつぶす方法であるが、押しつぶす力大なる場合ヘリコイドネジ部 2, 2' は変形され不均一なる廻動となる、又弱い押しつぶす力の場合は使用中作動環 12 が中筒 3 より外れる場合多し、本案を使用すれば軸線方向に力が働きヘリコイドネジ部 2, 2' に押しつぶす力が働かぬため円滑なる廻動をなし、又中筒 3 に螺入孔 5 を設け作動環取付面 14 を止ネジ 15 にて締付けるため作動中外れる事のない特徴を持つものである。

登 録 請 求 の 範 囲

作動環取付面 14 に調節孔 13 を設け中筒 3 に嵌挿し中筒鏝 4 正面の螺入孔 5 に依り作動環 12 と中筒 3 を軸線方向に止ネジ 15 にて螺着したヘリコイド作動環の構造。

(2)

第1圖



第2圖

